

マイスター実践報告

	I 学習	II 国語
「ねらい」	生徒に授業や評価がどう変わるか、どのように取り組んでほしいかを理解させる。	教科部内で、授業やテスト、評価をどう変えていくかを共通理解する。
「対象」	全校生徒	国語科教師
「概要」	年度初めの全校オリエンテーションで、学習部長として、今年度の指導要領の完全実施に伴い、授業等がなぜ変わるのか、どう変わるかを説明した資料。	月1回、本校の教科部および近隣校の国語科の先生方と、令和3年度からの授業やテスト、評価をどう変えていくべきかを検討している。その中でわかってきたことを2年度の公開授業後検討会で紹介した資料。

国語の授業にリーディング
ワークシヨップを

リーディングワークショップとは？

■直訳は

読むこと（読書）の

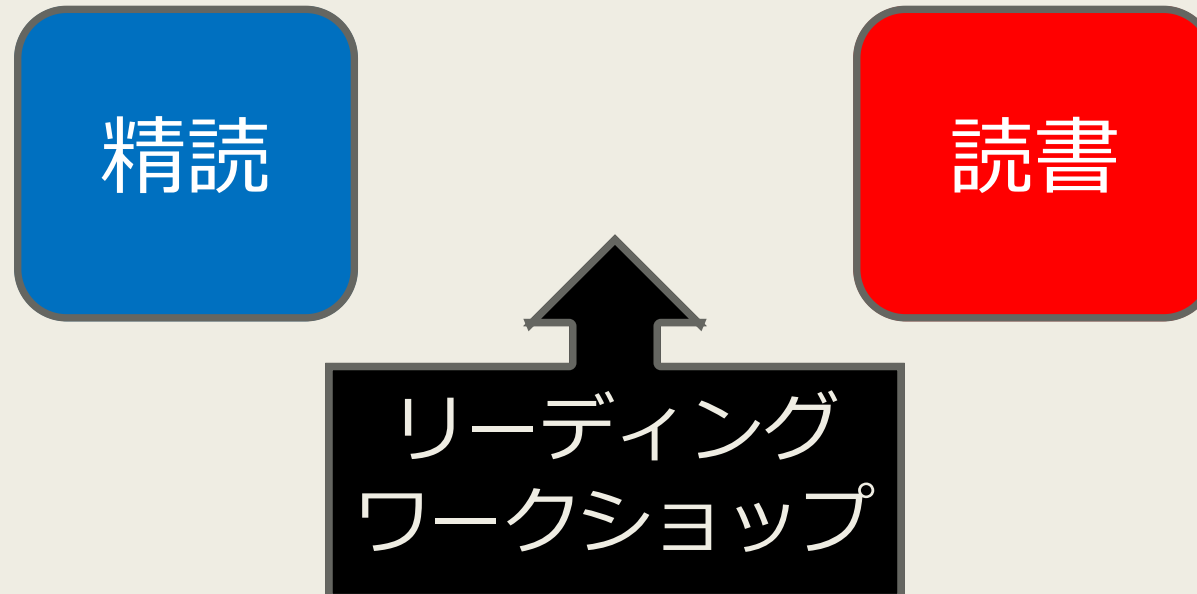
参加型・体験型セミナー（授業）

なぜ、今リーディングワークショップ？

- 新潟大学小久保先生の提案
「授業を2～3割圧縮して、読書を」
→生涯読書へ
- 「読書は個人の楽しみ、授業でそんなにやらなくても・・・」
- 「授業を削って読書、それで力が付くの？」

国語の授業と読書の乖離

- アメリカ リーディングとは、精読（読解）であり読書である。
- 日本 精読（読解）と読書は違うと考えられてきた。



リーディングワークショップとは？

- 従来の読書指導（「好きな本を自由に読め～」で終わる授業）ではなく
- 読む力の向上を目的**としている

指導要領改訂の趣旨及び要点

(5) 読書指導の改善・充実

- 中央教育審議会答申（**読書は、**国語科で育成を旨とする**資質・能力をより高める重要な活動**）を踏まえ
- 各学年において、**国語科の学習が読書活動に結び付くよう**〔知識及び技能〕に「読書」に関する**指導事項**を位置付けるとともに、「読むこと」の領域では、**学校図書館などを利用して様々な本などから情報を得て活用する言語活動例**を示した。

「学習指導要領」の学年の目標

- 第1学年 学びに向かう力、人間性等
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、**進んで読書をし**、我が国の言語文化を大切にする態度を身に付けようとする

とにかく読書にスポット
が当たる

そもそもなぜ読書にスポット？

- 文科省HPより

学習指導要領改訂に込められた思い

- 学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。
- これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

学習指導要領改訂に込められた思い

- 授業で身に付けた力 = 社会で「生きる力」
- 改訂のポイント

<基本的考え>

知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成の**バランス**を重視、
授業時数を増加

<主な改善事項>

言語活動の充実
国語をはじめ各教科等で**記録、説明、批評、論述、討論**などの学習を充実

授業を変えなくては！

読書ばかりでは 親からのクレームが来そうで不安

- 学習指導要領に沿った学習活動
- 読みの力を高める目的
- むしろしない先生の方が問題
→ 子どもの事実・テストの結果

国語は好き？わかる？

令和元年度市意識調査

	国語の勉強は好きですか？	国語の授業はよくわかりますか？
市の平均	66.1%	86.5%
某マイスター教員	76.2%	96.9%
RWを実践していくと	80%超え	90%超え

それに伴って評価も変わる

■ 考え方

重み付けは 1対1対1（知識、思考、態度）

知識・技能 = 今まで教科書で身に付けさせようとしていたこと

教科書を使った授業（基本）

思考力・判断力・表現力 = これからの授業で身に付けさせたい

こと

パフォーマンス（生徒が出力）が中心

= 教科書を使った授業（発展）や教科書外の授業

授業を変えなくては！

具体的な評価（藍澤私案）

- 態度・・・
100点
 - ①振り返りシート（単元末） 5点×4
 - ②暗唱 5点×4
 - ③課題の提出状況 10点×3
 - ④漢字テスト等 10点
- 合計80点を100点に換算

具体的な評価（藍澤私案）

- 知識・技能・・・①定期テスト2回分を100点に換算
100点 漢字・文法・言語事項 + 読む（教科書教材）
②書写の作品（後期のみ①と合わせて100点）
- 思考・判断・表現・・・①定期テスト2回分 50点程度
100点 聴き取り問題 + 作文問題 + 初見の教材問題
②授業中のパフォーマンスを50点程度
実技・作品 スピーチ、スピーチメモ
作文、レポートなど
①②の合計を100点に換算

評価の分類（佐藤私案）

知識・技能	思考力・判断力・表現力
定量評価	定性評価
AIで可能	AIでは不可能（意味づける・価値付ける・説明する）
<ul style="list-style-type: none">情報の取り出し基本スキル教師が与えたものを短時間に全員で教わりペーパーテストして・ 点数	<ul style="list-style-type: none">・ パフォーマンス自分で選択したもので長時間に渡り個別で学びペーパーテストでは測れない力（質の向上）をポートフォリオ等で・ 質の向上を自己評価（メタ認知）

バランスが大事！

そもそも、なぜ評価するの？

- 生徒を値踏みするためではなく、
- 生徒の意欲を高めるため

必要性はわかった。ではどのようにしたら授業に取り入れられる？

- まずは実際の授業の様子を知る！

その1 佐藤実践

- 1年生の秋の授業の様子
- 感想や質問を近くの方とどうぞ

どうやれば、こんな生徒になるの？

- 4月の授業
 - ・ 授業開きからの10時間

その2 吉澤実践

- リーディングワークショップの授業
開きの様子
- 感想や質問を近くの方とどうぞ

その3 田澤実践

- 初めてのリーディングワークショップの授業の様子
- 感想や質問を近くの方とどうぞ

必要性はわかった。ではどのようにしたら授業に取り入れられる？

- まずは実際の授業の様子を知る！
- 次は年間計画を立てる

とりあえずRWの目標時間を設定

- 1・2年生の場合 2割を当てたい

→ 140時間×0.2 = 28時間

佐藤式 . . . 60時間

吉澤式 . . . 35時間

初心者 . . . 10時間 (教材終わりに月1回程度)

必要性はわかった。ではどのようにしたら授業に取り入れられる？

- まずは実際の授業の様子を知る！
- 次は年間計画を立てる
- そのために教科書教材をどう時短する？

すぐにできそうな「時短授業」

パターンA・・・教科書教材でパフォーマンス中心の授業に

例「幻の魚は生きていた」5時間配当を4時間に

○教科書で発展課題とパフォーマンス課題

- 1 序論音読→情報の取り出し 10分
- 2 本論の並べかえと検討 70分
- 3 文章を評価する 20分 評価 振り返りシート 定期テスト
- 4 班で分業で新聞にする 2時間

評価 小見出しを付けている 文章に図表を加えている
文章にキーワード・キーセンテンスが入っている

すぐにできそうな「時短授業」

パターンB・・・シンクシートを使う

1 PISA型

情報の取り出し→解釈→熟考・評価

2 1～3時間で完結できる

必要性はわかった。ではどのようにしたら授業に取り入れられる？

- まずは実際の授業の様子を知る！
- 次は年間計画を立てる
- そのために教科書教材をどう時短する？
- パフォーマンスをどう評価するの？

リーディングワークショップの評価

- 読書記録 . . . 毎時間の記録（書名とページ、振り返りメモ）
- レターエッセイ . . . 締め切りは長期休み後
（評論文） 回数は1回以上
何度書き直しててもOK

パフォーマンスの評価？

- 今までの悩み・不安

たいした指導をしていない → 観点があいまい → 評価もあいまい



する



教科部で共通理解

何がどのくらい、どうなっていたら・・・基準が必要

→ループリック (評価表)

やることと基準を「共通理解」

- 1年間のパフォーマンス計画

例 前期（20～30点分＝定期テストに初見文章を入れるかによる）

作文3回 5点×3

スピーチ1回 発表10点 スピーチメモ5点

- 評価基準

作文の例 「星の花が降るころに」のよさ 200字

8割以上書いて提出2点＋三角ロジックが成立2点

＋誤字脱字文末が整っている1点

何を身に付けさせるか

必要性はわかった。ではどのようにしたら授業に取り入れられる？

- まずは実際の授業の様子を知る！
- 次は年間計画を立てる
- そのために教科書教材をどう時短する？
- パフォーマンスをどう評価するの？
- やってみたいけれど・・・

そんなあなたに朗報！

■ 今なら

1 吉澤先生の出前授業

1 限か2限の時間帯なら出張して授業します！

RWの授業開きやミニレッスン

2 来年度に向けての準備会

月1回、県立図書館をお借りして、RWの実践報告や評価について話し合ったりしています。

1 1月末現在とりあえずここまで